

信じて送り出した雪風が
外国人司令官に寝取られる話





日本国鎮守府

ああ
俺もだよ
雪風

ん……んっ!

すきい……♡

しれえ

んっ

あっ

いいえ!

この艦隊の……
しれえのためですから!

雪風
がんばります!

お前との結婚式を控えてる
こんな時期にすまないが……
急な派遣任務を言い渡された

本部から直々の指名でな
お前に行ってもらわなきゃ
ならない……

長期派遣になる
可能性もある
……本場にすまない

はあ……
はあ……っ

もう♡

しれえは
甘えんぼさん
なんですから♡

しっ……
しれえ……

いつも苦労をかけて
ごめんな
お前がいなくて
寂しくなるよ

それまでに
式の準備を
しておくよ!

そはい!
その時は雪風を
してくれねえね♡

ああ!
約束だ!

ふふっ
楽しみに
してます!

大丈夫ですよ!
雪風はすぐに
帰ってきます!

ああ……!
そうだな……!



一週間後
ザキ

提督 お茶が入りましたよ

おおきありがとうございます
すまんね雪風が戻ってくるまでの間とはいえ秘書艦の仕事に急に任せてしまって

いいのいいの
あの子のほうが慣れない土地で苦労してるんだから私も頑張らなきゃね



提督うそんなこと言ってもしかしてえ
雪風とするみたいに私とも

えっち

な動画を撮りたいだけのお？
なんじゃないの？

提督のスマホの中身知ってるんだよ！
あー



そういえば昨日軍の上層部から以前雪風の前にこの鎮守府で秘書艦を務めていた艦娘に宛てて慰労の言葉を動画で撮るよう指示があったんだ

俺もよく世話になった艦娘でな
快諾したよ



そうそれなら私がカメラ持ってあげるから

いや、着任中の秘書艦と一緒に映るよう指示されててな

ふうん……
知らん
なんで？



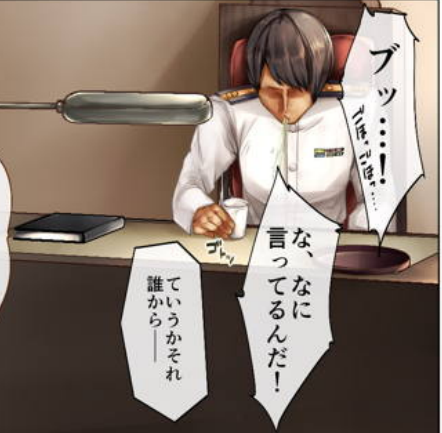
雪風……早ければそろそろ着いてる頃かな
君の無事を祈っているよ

……
……
……



島風、カメラとってきまーす！

へーん！



ブツ……！
な、なに言ってるんだ！
誰からかそれ





OH!
そうかそうか!
じゃあ最初の任務だ

こちらに
来なさい

はいっ!

……はい?



あっ、これ……
司令官……
近い……です

H A H A H A!
注文どおりだ!
小柄な体に
肉付きのいい太もも
若々しい肌の張り
スバラシイ!

注文……?
あの、これは何を……?



失礼します!

本日着任しました
陽炎型駆逐艦8番艦雪風です!!
どうぞよろしくお願ひしますっ!

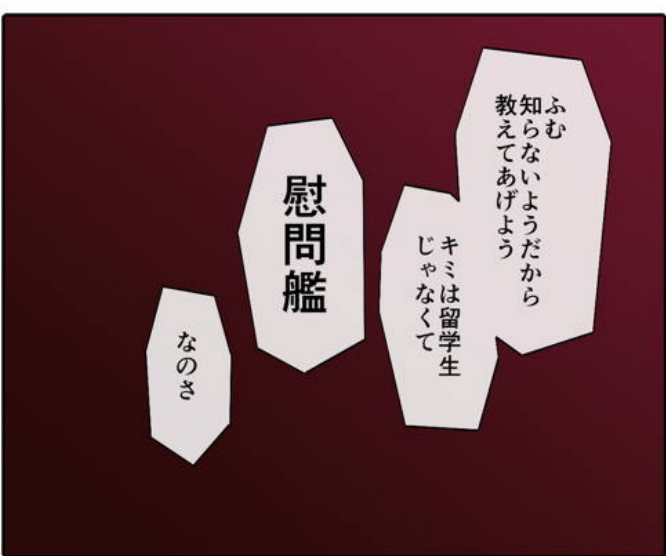
OH!こんなナリだが
オレがこの鎮守府を統括している
今日からよろしくな!
キミがあの有名人
幸運の女神様か!
会えて嬉しいよ!

……幸運の女神だなんて
……照れちゃいます



着いて早速だが
キミの任務は
もう聞いているかね?

はい!
交換留学生として
いろいろ学んでこいと
言われています!



慰問艦

ふむ
知らないようだから
教えてあげよう

キミは留学生
じゃなくて

なのさ





軍総司令部から どう聞かされていたかは 知らないが

まあキミの間抜けな 使いっ走り司令官が

あ...ッ!!

あぐっ...!!
し、しれえを 悪く言うのは やめてください!

ともかくキミは オレの所有物に なったんだよ

んぐっ! ...やだあつ!

力が強くてぜんぜん 振りほどけない...!!



率直に言うとなね キミは

よく分かってない ようだね

正直、慰問艦というのも 表向きの名目さ

売られたんだ



え... うそ...!!

嘘です そんなの!



優しいから... みんなが怪我を しないように... 無茶な任務を させないように...!

H A H A H A! ほんと司令官様 LOVE なんだねえ ヤケド しちゃいそうだ



そ、そんな...っ!

きやつ!

恨むなら日本の軍部 ひいてはろくに戦果も上げず タダ飯を食らってる 無能な上司を恨むんだな

日本の軍部は 随分金欠みたいでねえ しはしはオレのところで 用立ててあげてるのさ 軍は金を得て オレはその見返りに船を得る 秘密裏に結んだ契約だ



いや...あっ!
やめて...くださ...

でもね「慰問艦」には
「慰問艦」の仕事
してもらわなきゃ



やだ...
気持ち悪いよ...

助けて
しれえ...っ!



まあまあ
この仕事にも
すぐ慣れるさ
他の日本艦
みたいにね

もしかして
さつき道を教えて
くれた子も...



もしかして...

そう、キミみたいな
可愛らしい子を
収集するのが
オレの趣味でね
この鎮守府には
売られてきた
日本艦が多数
在籍しているよ

そして
この指輪は

かつて彼女たちが
婚約指輪だ
全員オレの
モノになってから
「譲って」さ
もらったのさ

これはまだ
ほんの一部だが

どうだ?
イカすだろ?
そ、そんな...っ



大切な指輪なのに
どうして、とでも
思ってるんだろ？
どうせキミだって
すぐに身も心も
オレのモノになるんだ

素直にオレの言うことに
従ったほうがいいぜ
そしたら
下の口の取り扱いは
優しくしてやるからさ！
H A H A H A !

やあ……っ！
はなしてっ！

口では立派に抵抗してるが
さっきから
ブルブル震えてるぞ？

この小動物の
ような可愛さ
やはり日本の駆逐艦は
スバラシイな！

さ……っ
触らないで
ください……っ

しれえから貰った
大切な指輪……
絶対にこんな人に
渡すわけがありません！



さらにオレが
強く抗議でもすれば
どうなるかわかるかね？

オレがここで止めたら
日本軍部との契約は
破棄される

いいのか？
——え？

キミの上司と
その上司を慕う
仲間はみんな

バラバラだ

キミひとりの
ワガママのせいだな

今までの日本艦たちは
全員受け容れてきたんだぞ

しれえ……
みんな……

そうなると
その責任を負うのは
キミの上司である
愛しの司令官様だぞ

雪風は
どうすれば……

……っ！



HAHAHA!

沈黙は承諾と受け取っていいな?

それじゃあ恭順の印を示してもらおうか

前例や慣習があるとそれに逆らえない... 扱いやすくていい

.....ッ!

えっ.....

これが男の人の.....? しれえのと全然違う...

慰問艦なら何をすればいいのかわかるだろう?

さあ早く

しれえなさい!

雪風は



キッ!

くっ.....!

OH! その表情ゾクゾクくるね!

司令官以外の男の竿は初めてかい?

.....と
そういえばキミの
司令官はずいぶんと
前時代的だったんだね

今時、式を挙げるまで
操を守るだなんてさ!

だからキミは
未だにヴァージン
だと聞いたよ

こんなにも可愛い盛り
に手を出して
もらえないなんて
可哀想で涙が
出そうになるぜ!

HAHAHA!



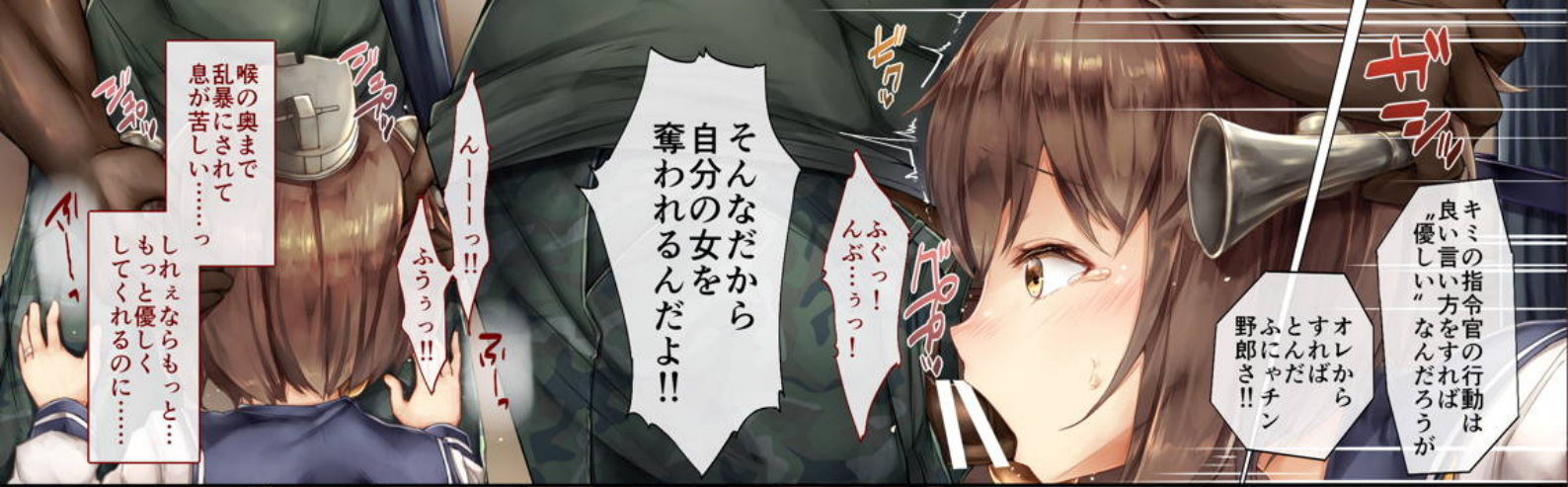
はっ.....あ

やだ.....どンドン
大きくなってる.....?!

こんなのお口に
入りきらない.....

んっ.....
うっ.....

ぐん.....
ぶー



フウツ!
さすがに
キツキツだな
半分しか
挿入できない
じゃないか!

抜いて…っ
抜いてください!

だめだ
キミはもう
オレの所有物だからな

オレの好きに
させてもらう

あ…ぐうっ…!

雪風はしれえの
お嫁さんになるのに…
こんな…
こんなのって…

どうせフェラやベッティング
ばかりしてたんだろ?
ホンモノの快楽を
味わってみるといい

あっ!
やあっ!
おつき…
すぎい…っ!

おなか壊れ
ちやうう…っ!

H A H A H A!
艦娘の身体は
丈夫にできてるから
この程度じゃ
壊れないさ!

んくっ…
くう…んっ!

そら!
もう嬌声が
漏れてるぞ!

ち、違いますっ
これは…!

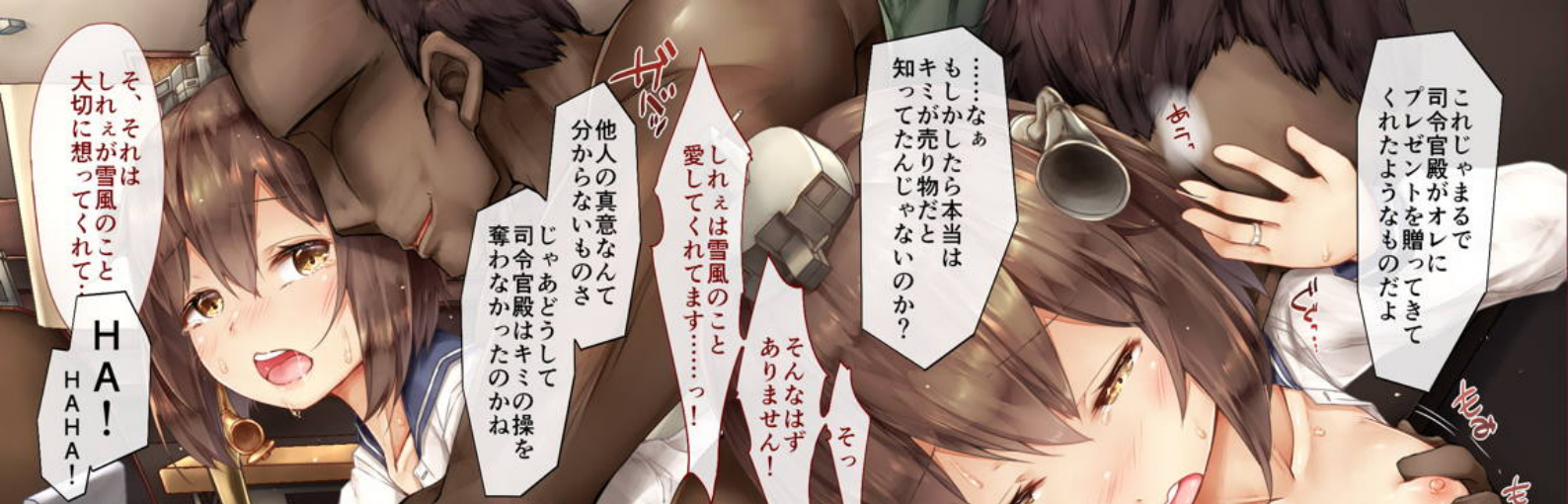
初めてでこれだけ
挿入出来ただけでも
感じるかなんてなあ
できるなんてなあ

腰開発を念入りにしてくれた
キミの上司に感謝しているよ

しかも
こんな
食べ頃な
果実に

手を出さず残しておいて
くれるオマケつき!

いやああっ!



これじゃまるで司令官殿がオレにプレゼントを贈ってきたようなものだよ

……なあもしかしたら本当はキミが売り物だと知ってたんじゃないのか？

しれえは雪風のこと愛してくれてます……っ！

他人の真意なんて分からないものさ
じゃあどうして司令官殿はキミの操を奪わなかったのかね

そ、それはしれえが雪風のこと大切に想ってくれて……
HA!
HAHA!



男という生き物は本当に好きな女のカラダを味わいたいと思ってるものだからね

本当にそうかなあ

ち、違います！しれえはそんな人じゃありません！



いいやね 違うないね

男のことは男がいちばん良く分かるのさ

しれえ……雪風は信じてます

しれえは雪風のこと愛してくれてるって……

く……うっ……



まあこれからじっくり
分かせてあげるよ

せかキユ

ああああっ！

そんな
ドクッ

やだ……
やだあ……っ！

中に……
出されてる……

ひぐっ……
ううっ……

まだ……
出てるう……っ

お腹の奥で
どくんどくん
って……

フウッ！
やはり日本の駆逐艦は
具合が良いな！

ひああっ！

ほら、こいつがさっきまで
キミのナカに入ってたんだよ
よく頑張ったね

おまたがすごく
じんじんする……
ぼーっとするし……

えっこの最中に
何度も目の前が
チカチカして……

こんなの知らない……
怖いよ……しれえ……っ



もしオレが満足するまで
耐えられたら日本軍部に
取り計らってやってやるよ

そしたらいつか
愛しの司令官のもとに
戻れるかもな

しれえ……

でも…雪風
がんばります

電話は自由に
使っていいぞ

ただし
今回の件は
絶対に
他言するなよ

約束を破れば
もう二度と
祖国の土は
踏めないと思え

いつか
しれえに……

会えるまで……



数週間後――

HEY!
ユキカゼ!

遠征
ご苦労様!

帰宅早々
呼び出して
すまないね!

できれば今すぐ
入渠したいんですが……

HAHAHA!
何を言ってるんだ

“いつもの”
秘書艦の仕事が先に
決まってるだろ?



あ……

雪風に何か
ご用でしょうか

遠征任務のせいで2日間も
キミとセックス
できなかったからね

もう我慢
できないんだよ

キミも出発前夜は
あんなに激しく
喘いでただろ

ユキカゼの
ここだって

寂しさに
疼いてるん
じゃないか?

雪風のカラダは
だんだんおかしく
なっていきました

着任当日から
母港にいる時はずっと
えっちなことを
し続けられて

早くみんなのところに
帰りたいたいの

会いたいたいの

でも

雪風のカラダは
この人のすることに
喜んでいて……

たくましい腕で
乱暴にカラダを
求められるのが

どうしようもなく
気持ちよくなって……

雪風はきつと——

雪風は……
はやく帰らなきゃ

いかされて

何度も

何度も

えっちな度に
何度も何度も





今のキミには
少々刺激が
強いかもしれんが

愛しの司令官殿から
メッセージが届いたよ

…っと
そういえば
セックスに
夢中で
すっかり
忘れてた

やはりキミの
カラダは
最高級品だね
高い金を払って
大正解だよ!

フゥ…

ギョ…



…元気にやっているか?
こちらは相変わらずだよ

私はキミから多くのことを
学ばせてもらった
君が居なくなつたことは
本当に残念で仕方ない

でも、新天地できつと
上手くやってくれていると
期待している

またいつか会う時があれば
そちらの話聞かせてくれ

楽しみにしているよ



これが正式な
譲渡同意書だ

う…嘘です!
見捨てたりなんて…っ!

キミに向けて
送られた
元上司からの
メッセージだ

何って

え
これ…
なん
何なんですか!

それから君が
退任してから就いた
新しい秘書艦だが

秘書艦をやつてたなら
筆跡で分かるだろう?

う…うそ
これは…
しれえの…
うううっ…
そんな…
うううっ…

ギョ…

ギョ…

偽装の準備に
時間はかかったが
ようやくこの時が来た――

我が艦隊へ
ようこそ

歓迎するぞ

純真で騙されやすい
ユキカゼには
大きなダメージに
なってくれたようだ
普段の調教で
疲弊した心には
さそツライだろうなあ
このまま身も心も
オレのモノに
なってもらおうぞ……



しれえ……

しれえ……
なんで……
雪風は……

なんで？

HAHAHA!
それはな……

オレとキミの
セックス事情を
あのチキン野郎に全部
バラしてたからさ！

そっ
そんな！

言っちゃ
いけないって
約束だったから
雪風は黙って――

ククク……

そ、それに
しれえと昨日
電話しても
そんな様子は……



もちろん
さっきのは嘘だ
しかし――

そりゃそうさ
あの男は女々しい
チキンだからな
心の底ではずっと
怒りでハラワタが
煮えくり返ってた
だろうな！

婚約までした
自分のカノジョが

他の男と
セックス三昧

してるのを
隠しながら
電話してきたらさ！

ユキカゼには
真偽を確認する術がないし
今後もさせない

日本軍部との連絡手段は
すべてオレが
握ってるからな！

ちがっ……

ちがっ……

そんな
つもりじゃ
なくて……っ！

やめ

また





いま画面を
タップすれば

すぐにも
司令官と
会話できるぞ

ほら



いやあっ……
もう……今日は
ゆるしてえ……っ

うああっ!

よっ……と



……いまは
しれえと
お話……

したくない……

とでも
懺悔してみるか!

本当は
他の男と
セックス
してました



これからも
ずつと可愛がって
やるからな!

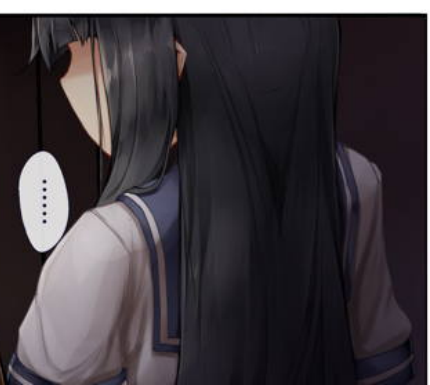
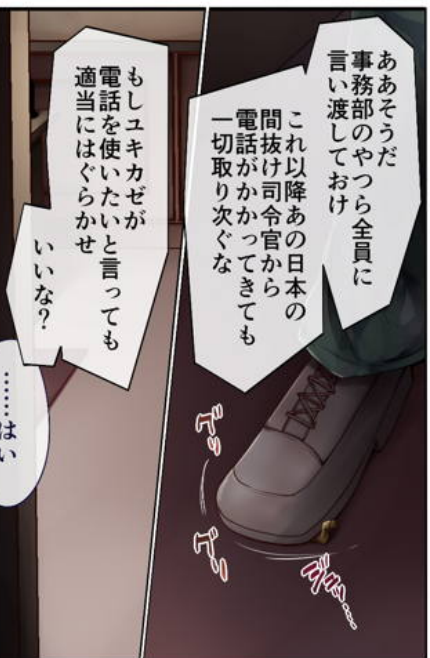
あっ……

……っあ

もうどうでも
いいよなあ!

HA
HAHA!

そうかそうか!
お前を捨てた
元のカレンなんて





録画
できてるな？

ほら、懐かしの
司令官殿にご挨拶しろ

んっあっ……しれえ……
お久しぶり……

んっ……ですう……

雪風、しっかりと
こちらでの任務を
こなしてますよ



HEY!
日本の駆逐艦は
素晴らしいよ!

特にこの
ユキカゼはね!

あっ……今はダメですよ
しれえに見られちゃう……



こっちの司令官様と
とっても“相性”が
良いみたいで

毎日かわいがって
もらってます♡

んっ……♡



HAHAHA!
何すましてるのさ!

いつもみたいに
いいだろお?

だっ♡
だめ♡

直接イジっちゃ……
あ……イ……イクっ……

イクう……♡



しっかりと見てろよ
チキンボーイ!

オレたちの
ライフワークを
見せつけて
やろうぜ!

ほら

ドキ あっ

あ...

時には強引に
いくことも
重要なのさ!

ドキ

ドン



ってああ、そうか
不能ペニスじゃ
知るわけがないか

我慢でき...

それ

ひっ

HA!
HAHA!

知ってたか?
コイツ、ペニスを挿したまま
腹を刺激してやると
子犬みたいな鳴き声あげて
イきまくるんだぜ!

最初はギチギチだったのが
今じゃすっかり馴染んで
オレ専用の秘書艦さ!

うあああっ!
はっ

だめだめえっ



司令官様のもので
いったい勉強させて
もらってます

はっ...
はあっ...
しれえ...

雪風、ちゃんと
秘書艦のお仕事
できてますよ



コイツ、もう
オレのペニス以外
考えられないってさ！

アンタの使えない
ペニスのほうが
いいんだとよ！

あつ♡
だめえ♡

それ
言わないって
約束だったのにいつ♡

本当のことだから
いいだろ？

それとも
もうやめるか？

あつやだつ
続けてください♡

あ...♡
ほら
早くしろ

あ...♡

それなら
オレのほうが
いいって言え

しれえより...
"あなた"のほうが...
いっぱい愛して
くれるから...

すきい...♡

よしよし
素直で
いい子だ

ああん♡





2020/05/03
KanColle Fanbook

『信じて送り出した雪風が
外国人司令官に寝取られる話』

印刷：ねこのしっぽ様

発行日：2020/05/03
発行：しろくろうさ
責任：スギユウ
連絡先：yuu_819_as@hotmail.com

